



OJI HOLDINGS

企業内保育所『ネピア ソダテラス』2018年4月2日オープン



王子ホールディングス株式会社

決算説明会資料

2018年5月21日(月)

ネピア ソダテラス

I. 2017年度決算概要

1.	2017年度 連結業績概要	3
2.	連結営業利益増減内訳 (2016年度 対 2017年度)	4
3.	セグメント別売上高・営業利益 (2017年度実績)	5
4.	セグメント別利益増減分析 ①生活産業資材	6
	②機能材	7
	③資源環境ビジネス	8
	④印刷情報メディア	9

II. 2018年度業績予想

1.	2018年度 連結業績予想	11
2.	連結営業利益増減内訳 (2017年度 対 2018年度)	12
3.	セグメント別売上高・営業利益 (2018年度予想)	13
4.	セグメント別利益増減分析 ①生活産業資材	14
	②機能材	15
	③資源環境ビジネス	16
	④印刷情報メディア	17
5.	外部環境の変動による影響	18

III. グループ経営目標

1.	経営計画 (1)経営理念・経営戦略	20
	(2)2018年度中期経営計画進捗状況	21

IV. トピックス

1.	事業戦略 ①東南アジア段ボール事業	23
	②海外紙おむつ事業	25
	③三菱製紙との資本・業務提携	26
2.	研究開発 セルロースナノファイバー(CNF)	27
3.	その他	28

《参考資料》

	セグメント別売上高推移	30
	連結営業利益推移	31
	自己資本利益率(ROE)推移	32
	連結有利子負債残高推移	33
	連結設備投融資・減価償却費推移	34
	連結就業人員推移	35
	2017年度 業界需要動向	36



I . 2017年度決算概要

1.2017年度 連結業績概要



(単位：億円)

	2016年度	2017年度	増減
売上高	14,399	14,859	460
営業利益	702	708	6
経常利益	529	660	131
親会社株主に帰属する 当期純利益	403	362	▲41
減価償却費	749	719	▲30
海外売上高比率	28.2%	31.0%	2.8%
海外所在会社営業利益	197	465	268
為替レート [期中平均・円/US\$]	108.4	110.9	2.5
連結子会社			
国内	95社	91社	▲4社
海外	102社	98社	▲4社
合計	197社	189社	▲8社

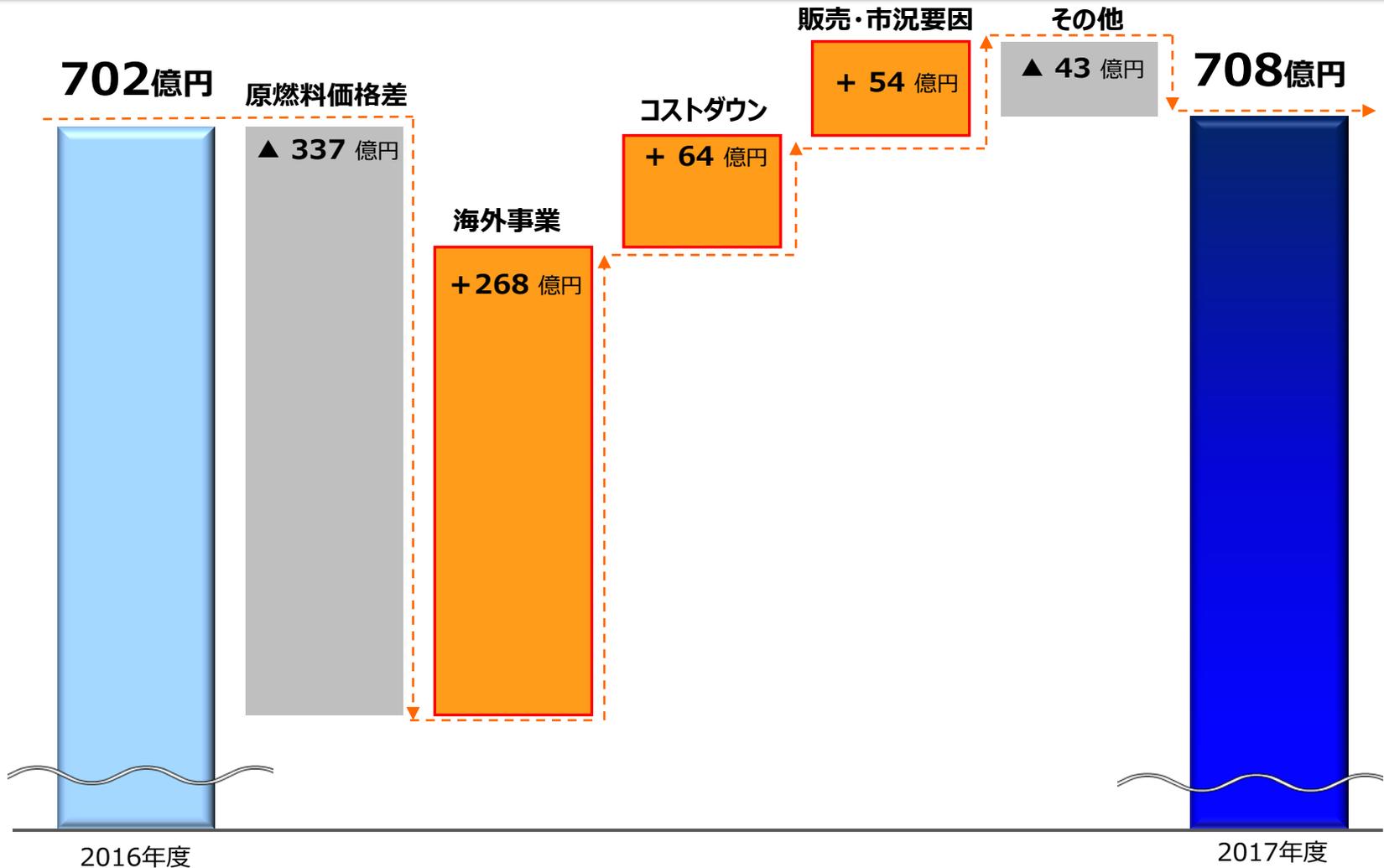
国内 : 木材関連+1社、製袋・紙器関連▲3社、紙製品関連▲1社、段ボール関連▲1社

海外 : マレーシア感熱関連+5社、豪州段ボール関連+1社、シンガポール段ボール関連+1社

マレーシア段ボール関連▲7社、植林・木材関連▲3社、その他▲1社

他に、持分法適用関連会社+2社 (国内+1社、海外+1社)

原燃料価格大幅高騰も、パルプ価格上昇・コストダウン等により +6億円増益



3.セグメント別売上高・営業利益 (2017年度実績)

(単位：億円)

	2016年度		2017年度		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
生活産業資材	6,203	188	6,513	54	310	▲134
機能材	2,176	175	2,208	186	32	11
資源環境ビジネス	2,703	191	2,985	423	282	232
印刷情報メディア	2,961	55	2,910	▲45	▲51	▲100
その他	356	93	243	90	▲113	▲3
連結合計	14,399	702	14,859	708	460	6

※1 売上高にはセグメント間売上を含む

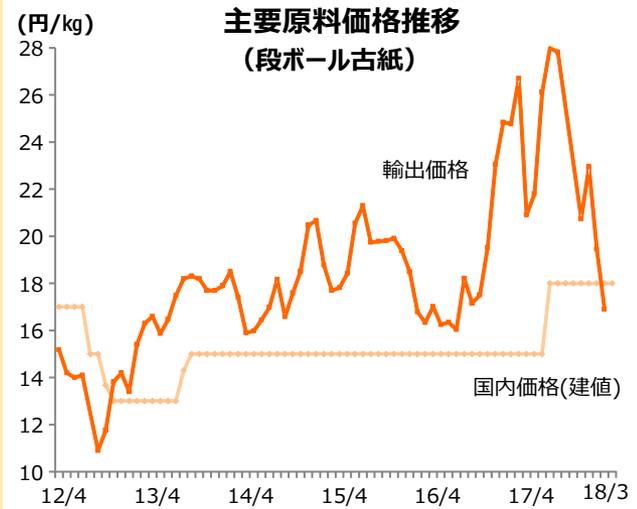
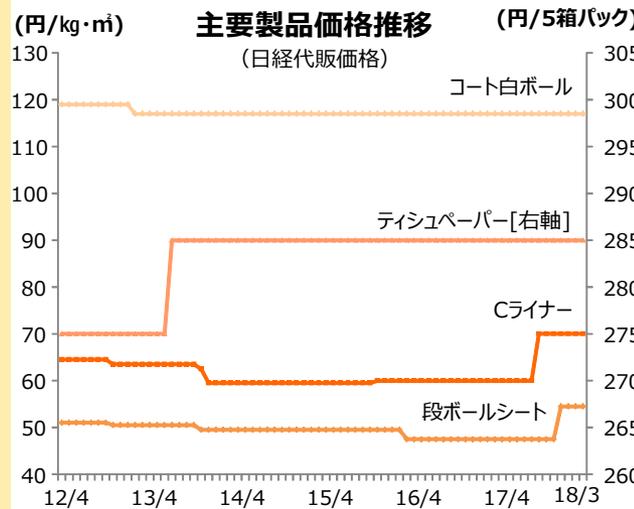
※2 その他には調整額を含む

4.セグメント別利益増減分析 ①生活産業資材

2016年度			2017年度			増減額	
売上高	営業利益		売上高	営業利益		営業利益	
6,203 億円	188 億円	うち国内 151 億円 うち海外 37 億円	6,513 億円	54 億円	うち国内 22 億円 うち海外 32 億円	▲134 億円	うち国内 ▲129 億円 うち海外 ▲5 億円

国内事業 ▲129億円

原燃料価格差 ▲231億円
販売・市況要因 +101億円
他



主要製品売上高実績(注)	2016年度			2017年度			増減			
	販売数量 (千t・百万㎡・百万枚)	販売単価 (円/kg・㎡)	販売金額 (億円)	販売数量 (千t・百万㎡・百万枚)	販売単価 (円/kg・㎡)	販売金額 (億円)	販売数量 (千t・百万㎡・百万枚)	対前年比 (%)	販売単価 (円/kg・㎡)	販売金額 (億円)
板紙 国内事業	3,034	63.55	1,928	3,152	64.92	2,046	118	103.9%	1.37	118
段ボール (百万㎡) 国内・海外計	3,864	62.57	2,417	3,969	63.69	2,528	105	102.7%	1.13	111
紙おむつ (百万枚) 国内・海外計	897			1,015			118	113.2%		

(注) 連結グループ内生産会社の合算値、グループ内消費を含む

4.セグメント別利益増減分析 ②機能材

2016年度				2017年度				増減額	
売上高	営業利益			売上高	営業利益			営業利益	
2,176 億円	175 億円	うち国内 128 億円	うち海外 47 億円	2,208 億円	186 億円	うち国内 132 億円	うち海外 54 億円	+11 億円	うち国内 +4 億円 うち海外 +7 億円

国内事業 +4億円

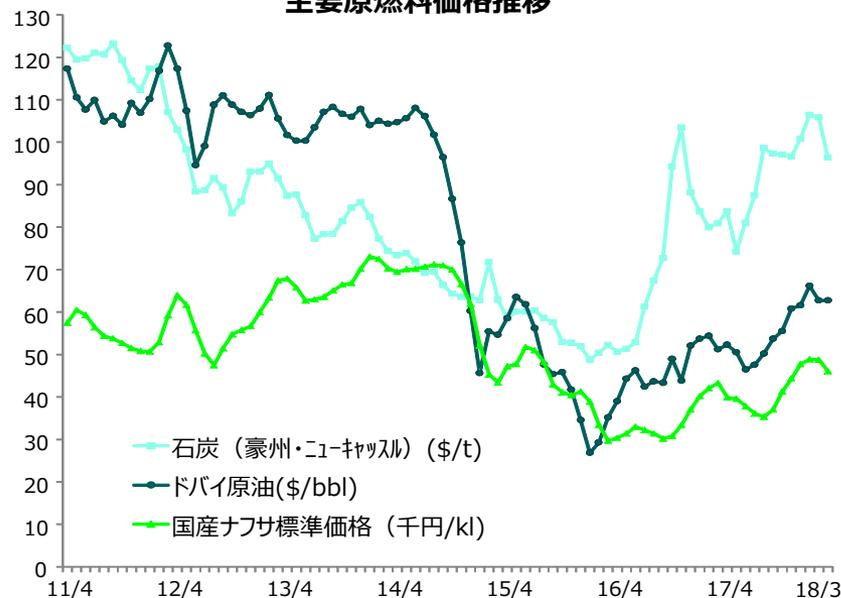
コストダウン +32億円

原燃料価格差 ▲23億円

他

海外事業 +7億円

主要原燃料価格推移



主要製品売上高実績(注)	2016年度			2017年度			増減			
	販売数量 (百万㎡)	販売単価 (円/㎡)	販売金額 (億円)	販売数量 (百万㎡)	販売単価 (円/㎡)	販売金額 (億円)	販売数量 (百万㎡)	対前年比 (%)	販売単価 (円/㎡)	販売金額 (億円)
感熱紙 (百万㎡) 国内・海外計	3,220	19.95	643	3,220	19.57	630	0	100.0%	▲0.39	▲12

(注) 連結グループ内生産会社の合算値、グループ内消費を含む

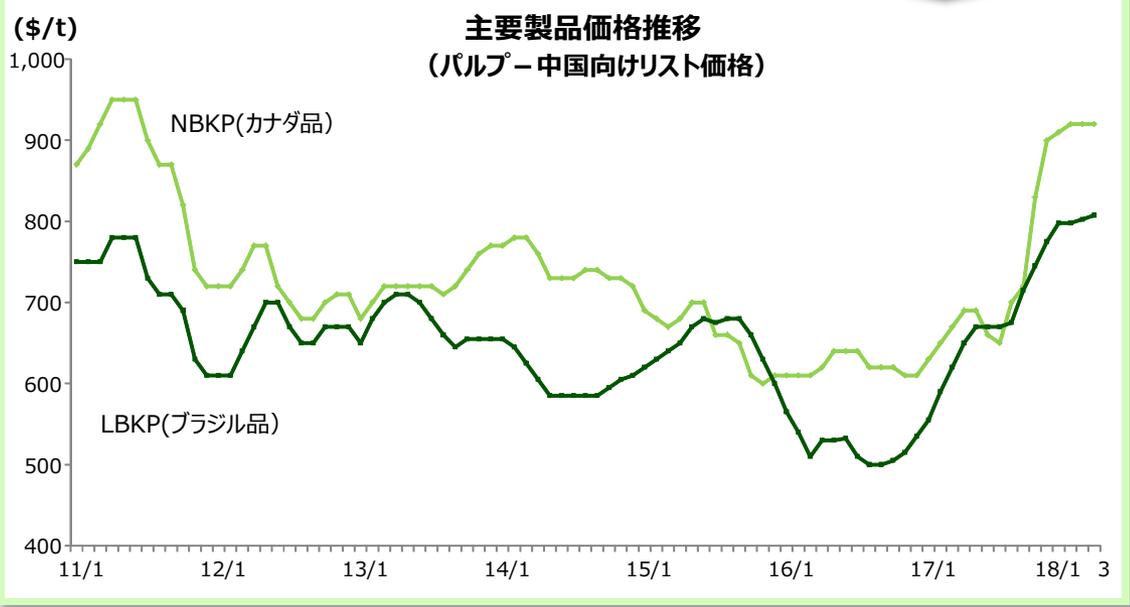
4.セグメント別利益増減分析 ③資源環境ビジネス

2016年度			2017年度			増減額	
売上高	営業利益		売上高	営業利益		営業利益	
2,703 億円	191 億円	うち国内 87 億円 うち海外 104 億円	2,985 億円	423 億円	うち国内 80 億円 うち海外 343 億円	+232 億円	うち国内 ▲7 億円 うち海外 +239 億円



海外事業 +239億円

- パルプ価格上昇 +291億円
- レアル高によるコスト高 ▲38億円
- 原燃料価格差 ▲43億円
- 他



主要製品売上高実績(注)	2016年度			2017年度			増減			
	販売数量 (千t・GWh)	販売単価 (円/kg)	販売金額 (億円)	販売数量 (千t・GWh)	販売単価 (円/kg)	販売金額 (億円)	販売数量 (千t・GWh)	対前年比 (%)	販売単価 (円/kg)	販売金額 (億円)
販売パルプ 国内・海外計	2,292	58.66	1,344	2,322	68.77	1,597	31	101.3%	10.11	253
販売電力 (GWh) 国内事業	1,052			1,032			▲ 20	98.1%		

(注) 連結グループ内生産会社の合算値、グループ内消費を含む

4.セグメント別利益増減分析 ④印刷情報メディア

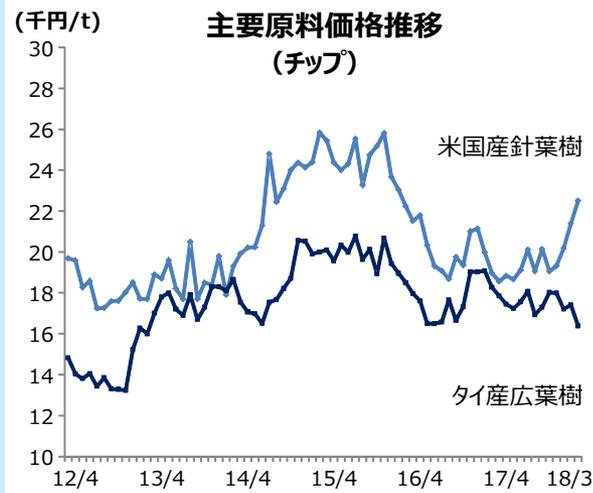
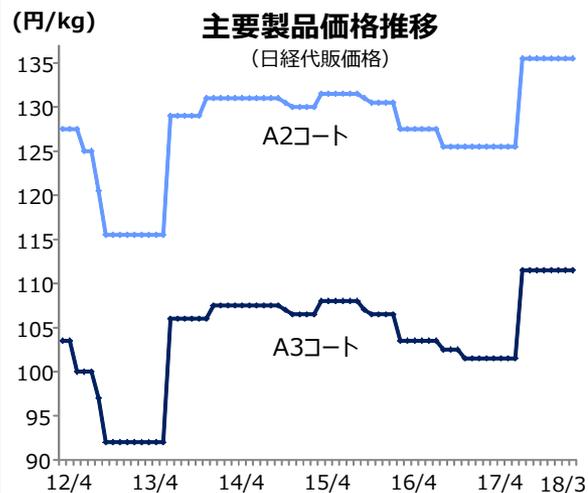
2016年度				2017年度				増減額	
売上高		営業利益		売上高		営業利益		営業利益	
2,961 億円		55 億円		2,910 億円		▲45 億円		▲100 億円	
		うち国内	45 億円	うち国内	▲82 億円	うち国内	▲127 億円		
		うち海外	10 億円	うち海外	37 億円	うち海外	+27 億円		

国内事業 ▲127億円

海外事業 +27億円

原燃料価格差 ▲83億円 販売・市況要因 ▲47億円 コストダウン +15億円 他

好調な市況やコストダウンにより増益



主要製品売上高実績(注)	2016年度			2017年度			増減			
	販売数量 (千t)	販売単価 (円/kg)	販売金額 (億円)	販売数量 (千t)	販売単価 (円/kg)	販売金額 (億円)	販売数量 (千t)	対前年比 (%)	販売単価 (円/kg)	販売金額 (億円)
新聞・印刷情報用紙 国内事業	2,423	106.87	2,589	2,366	104.99	2,484	▲57	97.7%	▲1.88	▲105

(注) 連結グループ内生産会社の合算値、グループ内消費を含む

Ⅱ. 2018年度業績予想

1.2018年度連結業績予想



(単位：億円)

	2017年度	2018年度予想	増減
売上高	14,859	15,300	441
営業利益	708	1,000	292
経常利益	660	900	240
親会社株主に帰属する 当期純利益	362	500	138
減価償却費	719	694	▲25
海外売上高比率	31.0%	31.5%	0.5%
海外所在会社営業利益	465	618	153
為替レート [期中平均・円/US\$]	110.9	110.0	▲0.9

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在における将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。

2018年度予想前提条件

◆原燃料価格

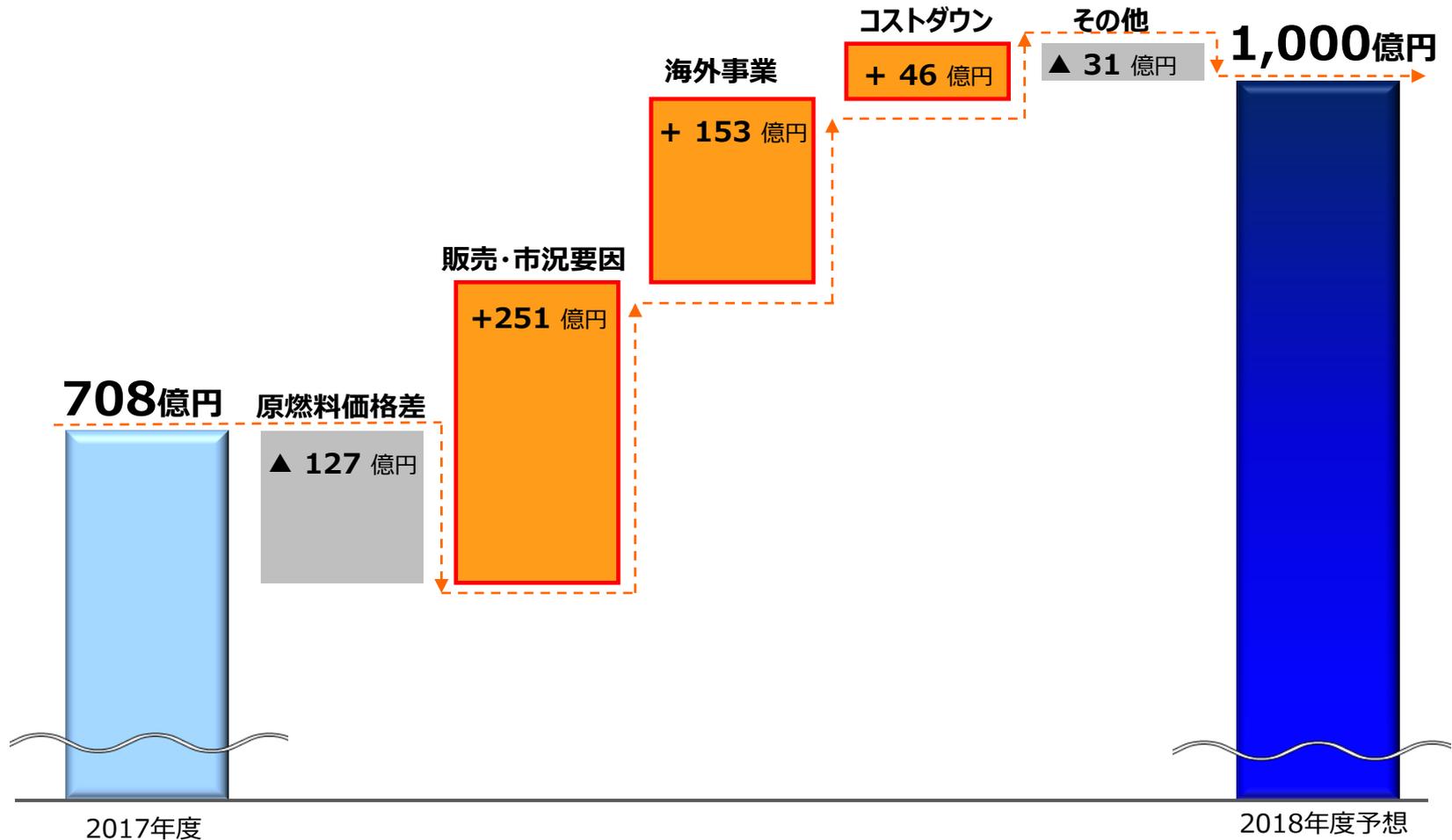
- ・チップ：現行契約ベース
- ・古紙：現行価格レベル横ばい
- ・石炭：現行契約ベース

◆営業利益への変動影響（年間）

- ・為替レート [円] : 対USドル1%変動につき±約1.3億円 (USドル高-)
- 「ブラジルリアル」 : 対USドル1%変動につき±約3.9億円 (USドル高+)
- [NZドル] : 対USドル1%変動につき±約7.9億円 (USドル高+)
- ・古紙価格 : 1円/kg変動につき±約41億円
- ・ドバイ原油価格 : 1USドル/bbl変動につき±約2.8億円 (重油、バンカーオイル、ナフサ関連製品 他)
- ・パルプ価格 : 10USドル/t変動につき±約23.7億円 (パルプ高+)

2. 連結営業利益増減内訳 (2017年度 対 2018年度予想)

紙製品価格修正・パルプ価格上昇・コストダウン等により **292億円増益**



3.セグメント別売上高・営業利益 (2018年度予想)

(単位：億円)

	2017年度実績		2018年度予想		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
生活産業資材	6,513	54	6,840	250	327	196
機能材	2,208	186	2,280	201	72	15
資源環境ビジネス	2,985	423	3,050	523	65	100
印刷情報メディア	2,910	▲45	2,880	2	▲30	47
その他	243	90	250	24	7	▲66
連結合計	14,859	708	15,300	1,000	441	292

※ 1 売上高にはセグメント間売上を含む

※ 2 その他には調整額を含む

4.セグメント別利益増減分析 ①生活産業資材

2017年度				2018年度予想				増減額	
売上高		営業利益		売上高		営業利益		営業利益	
6,513 億円		54 億円		6,840 億円		250 億円		+196 億円	
		うち国内	22 億円			うち国内	173 億円	うち国内	+151 億円
		うち海外	32 億円			うち海外	77 億円	うち海外	+45 億円

◀2018年度 利益増減要因▶

国内事業 +151億円

- ◆ **産業資材事業** +155億円
- 販売・市況要因 +216億円
- 原燃料価格差 ▲67億円
- 他



外部の表彰等の好評を博し増販を見込む紙おむつ製品「WHITO」

海外事業 +45億円

- ◆ **産業資材事業** +41億円
- 他

海外パッケージング事業の拡大状況

2017年度 稼働・買収

Oji Cardboard Carton Solutions (オーストラリア) (2017年9月)

美粧印刷や特殊加工を必要とする段ボール製品等の製造・販売

Oji Fibre Solutions 新段ボール工場 (オーストラリア) (2017年10月)

段ボールの製造・販売

2018年度 稼働予定

Harta Packaging Industries 新段ボール工場 (マレーシア) (2018年6月)

新段ボール工場 (インド) (2018年12月)

段ボール生産能力増強 (マレーシアの2拠点) (2018年12月)



4.セグメント別利益増減分析 ②機能材

2017年度				2018年度予想				増減額	
売上高		営業利益		売上高		営業利益		営業利益	
2,208 億円	186 億円	うち国内 132 億円 うち海外 54 億円		2,280 億円	201 億円	うち国内 135 億円 うち海外 66 億円		+15 億円	うち国内 +3 億円 うち海外 +12 億円

「2018年度 利益増減要因」

国内事業 +3億円

- ◆ 販売・市況要因 +31億円
- ◆ 原燃料価格差 ▲34億円 他



技術紹介 繊維強化熱可塑複合素材

強化繊維と熱可塑性繊維を紙抄きの技術を活用してシート化した複合素材は、熱プレスにより短時間で軽く強い複雑な形状に成形可能



海外事業 +12億円

- ◆ 販売・市況要因 +43億円
- ◆ 原燃料価格差 ▲40億円 他

海外事業の拡大状況

Oji Papéis Especiais (OPE) (ブラジル)
2017年7月 多層コーター設置 … 能力10%up

→ 感熱紙の需要を取り込む増産投資をさらに検討

Tele-Paper Malaysia (マレーシア)
2017年8月 アジア最大級の感熱加工会社を買収

→ 東南アジアで機能材の一貫生産を推進
トータルソリューションパッケージングを提案

Oji Myanmar Packaging (ミャンマー)
2017年9月 営業運転開始 (軟包装製品等の製造・販売)

4.セグメント別利益増減分析 ④印刷情報メディア

2017年度		2018年度予想		増減額
売上高	営業利益	売上高	営業利益	営業利益
2,910 億円	▲45 億円	2,880 億円	2 億円	+47 億円
	うち国内 ▲82 億円 うち海外 37 億円		うち国内 ▲36 億円 うち海外 38 億円	うち国内 +46 億円 うち海外 +1 億円

◀2018年度 利益増減要因▶

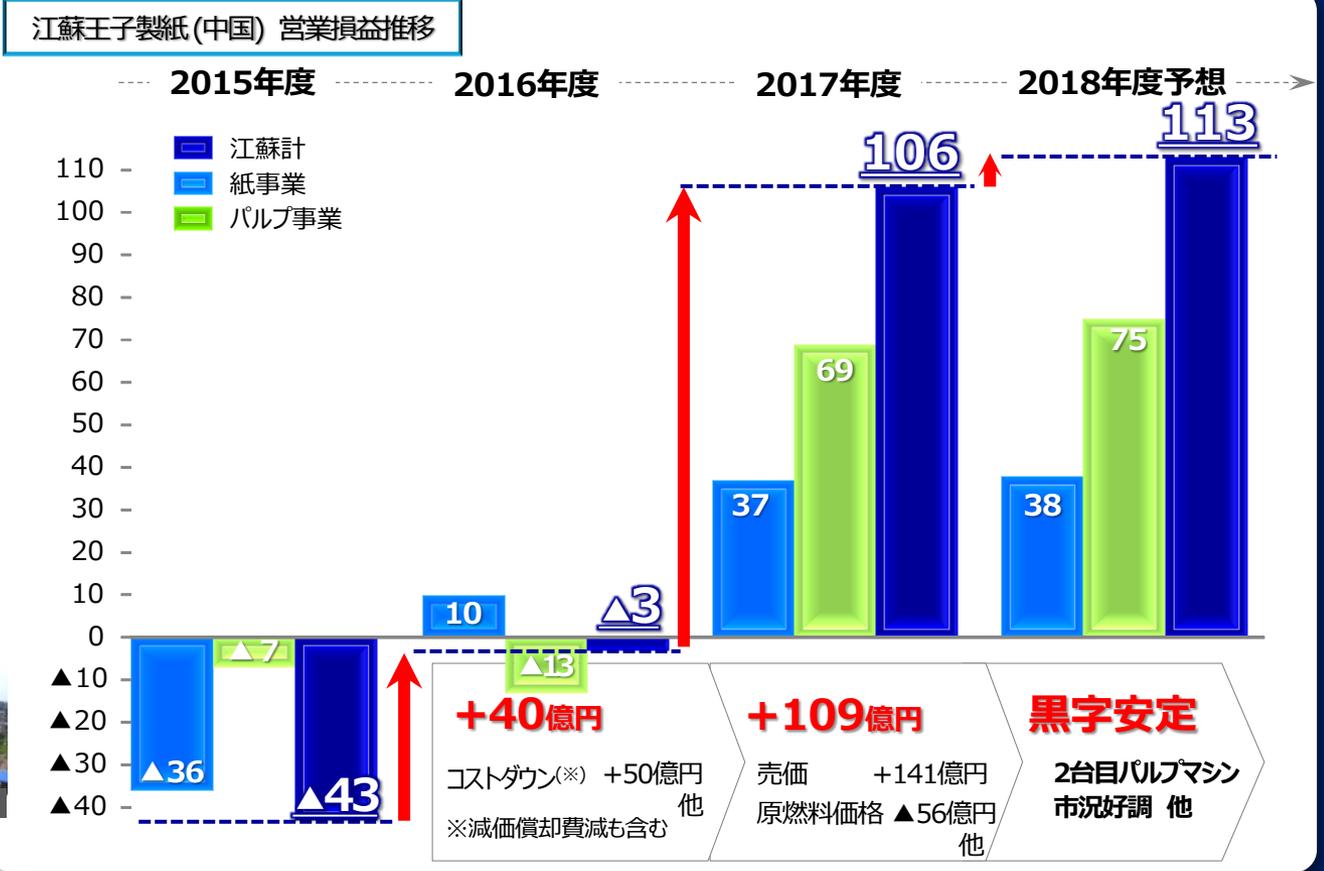
国内事業 +46億円

- ◆退職給付費用 +38億円
- ◆コストダウン +32億円
- ◆原燃料価格差 ▲16億円
- 他

海外事業 +1億円



江蘇王子製紙南通工場



5. 外部環境の変動による影響

(億円/年)

				生活 産業資材	機能材	資源環境 ビジネス	印刷情報 メディア	影響額 合計
◆ 営業利益への為替変動影響				2018年度想定レート				
USD建 取引影響 (USD10%高)	円		110.00 円/USD	↓	→	→	↓	▲ 40
	ブラジルリアル	(BRL)	3.20 BRL/USD	→	→	↑	→	+ 39
	ニュージーランドドル	(NZD)	1.41 NZD/USD	↑	→	↑	→	+ 79
外貨建損益 換算影響 (円10%安)	米ドル	(USD)	110.00 円/USD	↑	↑	↑	→	+ 27
	ブラジルリアル	(BRL)	34.40 円/BRL	→	↑	→	→	+ 3
	ニュージーランドドル	(NZD)	78.00 円/NZD	↑	→	↑	→	+ 11
◆ パルプ価格影響 (10USD/t 高)				↓	↓	↑	↓	+ 24

+: 良化
▲: 悪化

グローバル化・多角化したグループ総合力で、為替変動、パルプ市況変化に対応

Ⅲ. グループ経営目標

1. 経営計画 (1) 経営理念・経営戦略

経営理念

～王子グループが目指す姿～

革新的価値の創造

未来と世界への貢献

環境・社会との共生

「領域をこえ 未来へ」

経営戦略

～グループ基本方針と経営数値目標～

～2016-18年度グループ基本方針～

海外事業の拡大

国内事業の集中・進化

財務基盤の強化

～2018年度経営数値目標※～

※2015年度に策定

<連結営業利益> **1,000億円**

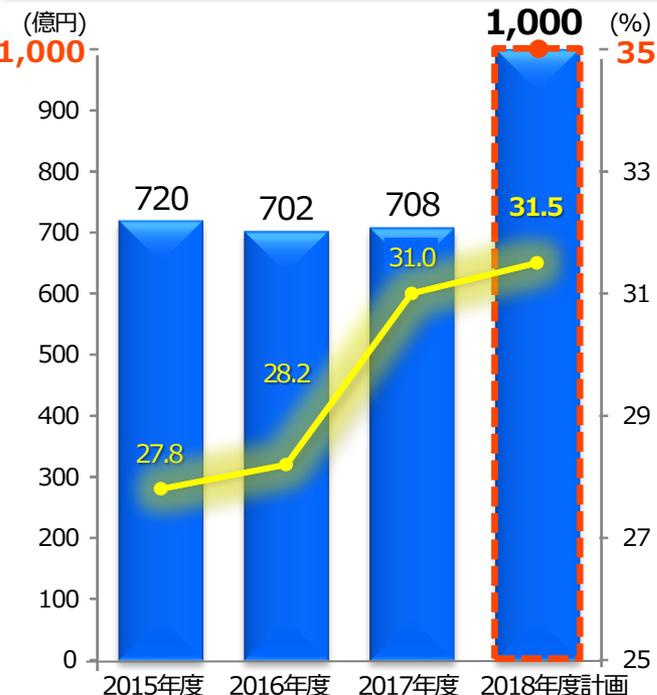
<海外売上高比率> **35% (将来目標50%)**

<有利子負債残高> **7,000億円**

1. 経営計画 (2)2018年度中期経営計画進捗状況

営業利益 : 1,000億円(達成見通し)

海外売上高比率 : 31.5%(目標35%)



有利子負債残高 : 6,500億円(達成見通し)



2019年3月期配当: 2円増配予定 (10.0円 → 12.0円)

経営数値目標達成に向けた取り組み

生活産業資材	《国内》	<ul style="list-style-type: none"> ● 産業資材事業：収益力強化・コストダウン <ul style="list-style-type: none"> * O&Cアイボリーボード → 高級白板紙増販 * O&CペーパーバッグHD → 製袋事業再編 ● 紙おむつ事業：競争力強化(加工機増設、新ブランド上市)
	《海外》	<ul style="list-style-type: none"> ● パッケージング事業：〔東南アジア・オセアニア・インド〕拡大 ● 紙おむつ事業： <ul style="list-style-type: none"> * 生産・販売〔マレーシア・インドネシア〕/輸出〔中国〕拡大
機能材	《国内》	● 研究開発型・高付加価値商品の継続的リリース・拡販
	《海外》	<ul style="list-style-type: none"> ● 感熱紙・機能材事業： <ul style="list-style-type: none"> * 既存拠点能力増強 (OPE〔ブラジル〕、KANZAN〔ドイツ〕) * 感熱紙・機能材 印刷・加工拠点 買収・新設 (HRL・TP〔マレーシア〕、OMPC〔ミャンマー〕)
資源環境ビジネス	《国内》	<ul style="list-style-type: none"> ● エネルギー事業： <ul style="list-style-type: none"> * 水力発電リフレッシュ工事/バイオマスボイラ建設
	《海外》	<ul style="list-style-type: none"> ● パルプ事業： <ul style="list-style-type: none"> * ドライパルプマシン増設 (江蘇〔中国〕) * 生産効率改善・競争力強化 (CENIBRA〔ブラジル〕、江蘇〔中国〕、OjiFibreSolutions〔NZ〕)
印刷情報メディア	《国内》	<ul style="list-style-type: none"> ● 生産体制再構築・コストダウンの徹底 <ul style="list-style-type: none"> * 王子製紙春日井工場第4号マシン停機
	《海外》	● 継続的コストダウン(江蘇〔中国〕)
その他	《国内外》	<ul style="list-style-type: none"> ● 新素材・新事業開発(CNF・水処理技術・薬用植物) ● 遊休資産(不動産・株式)売却他

IV. トピックス

1. 事業戦略 ① 東南アジア段ボール事業-1

工場新設と設備増強

段ボール工場新設

(所在国において)

マレーシア	2018年6月	(8箇所目)
インド	2018年12月	(3箇所目)
ベトナム	2019年7月	(5箇所目)

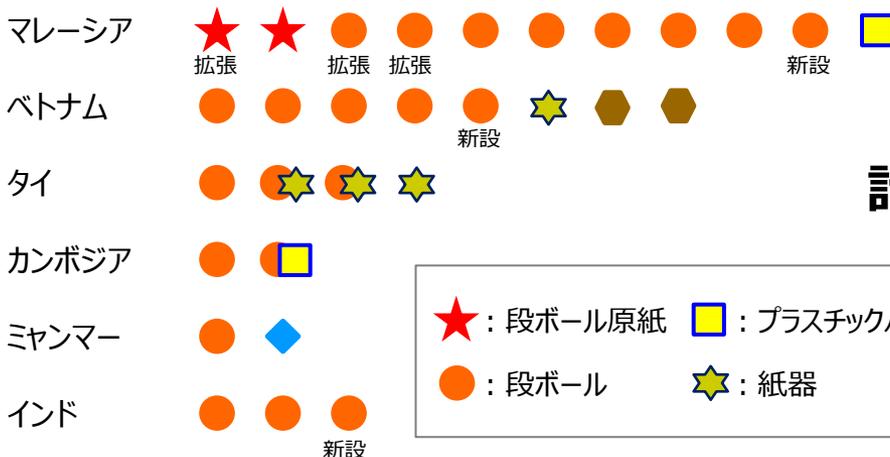
生産能力増強 (マレーシア)

- 段ボール原紙の生産設備増設
 ▶ 年産45万トンの設備を設置
 (2021年4月予定)
- 段ボール工場の生産能力増強
 ▶ 2拠点でそれぞれ能力倍増
 (2018年12月予定)



段ボール原紙マシンを増設するGSPP社本社工場

東南アジアの国別拠点数



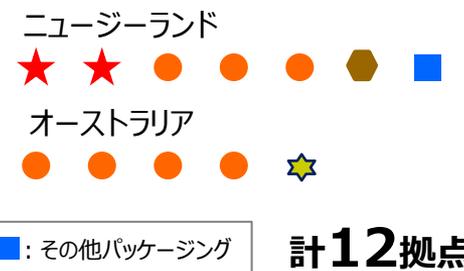
計30拠点

★ : 段ボール原紙	■ : プラスチックバッグ	● : 製袋
● : 段ボール	★ : 紙器	◆ : 軟包装

「オセアニア」

東南アジアとのシナジー効果も視野に
オセアニア事業も拡大方針

オセアニアの国別拠点数



計12拠点

1. 事業戦略 ① 東南アジア段ボール事業-2

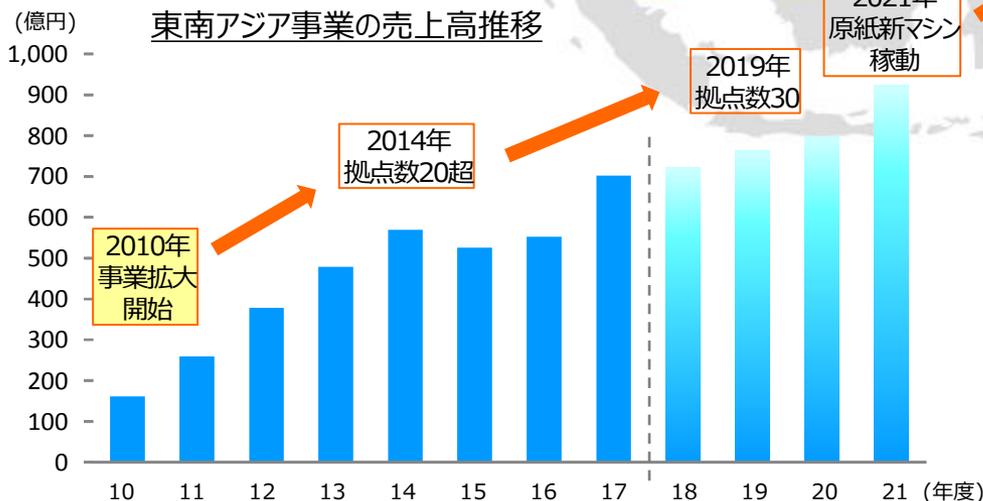
2010年以降、進出を加速し、好調が続く東南アジアのパッケージング事業をさらに拡大



東南アジアにおける事業拡大

- 2010年** GSPP社（マレーシア）を買収
- 2011年** Harta社（マレーシア等）を買収
- 2014年** 事業拠点数**20**超え
- 2019年** 事業拠点数**30**へ

2017年度王子グループ段ボール販売数量の2割近くを東南アジア事業が占める



今後の取り組み

**需要に合わせた生産量拡大
(拠点数・設備能力)**

**新たな国への進出
(インドネシア、フィリピン等)**

**軟包装等を含めた
トータルパッケージング事業の展開**

東南アジア戦略

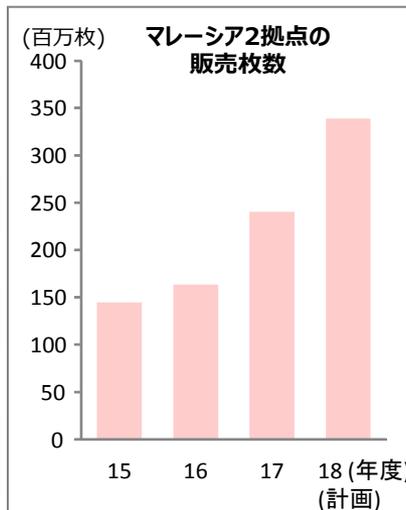
《マレーシア》

現地2拠点でパンツ型・テープ型を生産し、販売を充実

Genki!ブランドの浸透

マレーシア国内における拡販

東南アジアを中心とした輸出の拡大



《インドネシア》

Indofoodとの合併により
ミニマーケット等で
OEM品の販売拡大

今後の取り組み

現地生産開始に向け
鋭意検討中



中国戦略

“日本製品”の輸出

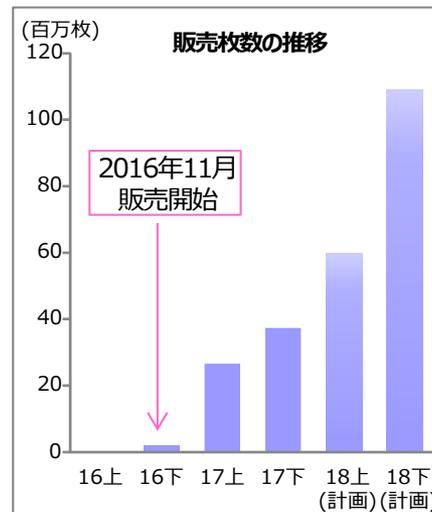
ターゲット地域を絞った
販売拡大・シェアアップ

Genki!ブランドの浸透

現地生産の検討 (南通工場)



インドネシアで展開している
MOKOMOKOブランド



1. 事業戦略 ③ 三菱製紙との資本・業務提携

三菱製紙との幅広い協業シナジー発揮により、持続的成長・中長期的な企業価値最大化を追究

従来 特定事業・単発的な協業関係

- ◆ 情報用紙事業 (2007年～)
- ◆ バイオマス発電事業
→ 三菱製紙八戸工場構内にバイオマスボイラを設置

MPM王子エコエネルギー

2019年6月 営業運転開始予定

- ・設備能力：約75,000kW
- ・売電量：約5.3億kWh/年
- ・売上高：約110億円/年



八戸工場で建設中のボイラ

- ◆ 家庭紙合併事業
→ 三菱製紙八戸工場構内で家庭紙事業を展開

MPM王子ホームプロダクツ

2019年4月 営業運転開始予定

- ・三菱製紙八戸工場の競争力あるインフラの活用
- ・東北地区ではじめて家庭紙拠点を獲得 → 物流コスト削減

今後 複数事業で協業関係を強化

2018年2月

資本提携契約締結

→ 従前の提携事業を含め、資本・業務提携関係をさらに包括的・建設的なものに発展

王子HD

出資後所有株式 33.00%

持分法適用関連会社化

三菱製紙

<相乗効果例>

- ① 合併事業等への新規設備投資
- ② 原燃料コスト削減
- ③ 供給物流コスト削減
- ④ チップ調達物流コスト削減
- ⑤ 生産体制の効率化

⇒ 収益改善効果: **50億円** 以上/両社

<その他>

両社ドイツ感熱事業の再編を検討

セルロースナノファイバーの特性



偏光板を通して見たCNFのスラリー※

※CNFの繊維径が小さく（透明度が高い）、繊維長が長い（強度が高い）ことでオーロラのように見える。

温度変化に強い
(ガラス並の線熱膨張係数)

高い透明度

硬くて丈夫
(高い弾性率)

スラリー（液状）では
 ・増粘性 ・保水性
 ・分散性 ・チキン性

シートでは
 ・フレキシブル性
 ・低熱膨張性

2017年度の開発進捗状況

スラリー	増粘剤「アウロ・ヴィスコ」販売開始
パウダー	有機溶剤に溶解可能なパウダーサンプル配布
シート	立体的な「アウロ・ヴェール3D」サンプル配布 水に強い「アウロ・ヴェールWP」サンプル配布 製造実証プラント稼動 [年産能力25万㎡]
複合素材	ポリカーボネート樹脂の高機能化技術 を開発
新規用途開発	様々な企業と新用途・組み合わせる素材の検討多数

ポリカーボネート樹脂の高機能化技術

**ポリカーボネート樹脂
の特性**

- ・軽量
- ・透明性
- ・耐衝撃性

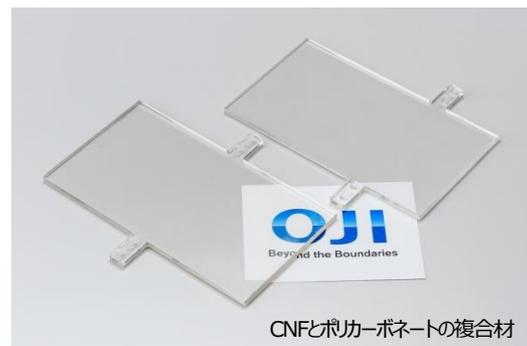


CNFの特性

- ・高弾性率
- ・低線熱膨張係数
- ・高透明度



ポリカーボネートの特性を保ったまま
 ・弾性率が約4倍に向上！（外部からの力に強い）
 ・線熱膨張係数が約1/3に低減！（熱による変形が少ない）



→ **今後期待される用途**

- ◆ ガラスからの代替
- ◆ 軽量・断熱性向上を生かした新用途

「なでしこ銘柄」に初選定

2018年3月 王子ホールディングス・王子マネジメントオフィスが
「なでしこ銘柄」に初選定



※「なでしこ銘柄」とは？

経済産業省・東京証券取引所が共同で、
女性活躍推進への対応を経営戦略として捉え
高い水準で取り組む企業を、業種毎に評価・選定
(平成29年度は27業種、各1~4社の計48社を選定)

※王子グループは：

- ・女性活躍推進 (採用・研修・管理職登格・職域拡大)
 - ・ワークライフマネジメント向上 (育児・介護との両立支援)
- を積極推進

紙パルプ業界 初 「えるぼし」最高位 を獲得

2017年12月 王子ホールディングスが「えるぼし」最高位を獲得

※「えるぼし」とは？

女性活躍推進法に基づき、「採用」「継続就業」
「労働時間等の働き方」「管理職比率」
「多様なキャリアコース」の5項目の評価により、
女性活躍推進の取り組み状況が優良である
企業に厚生労働大臣から与えられる認定マーク
(2018年4月現在 認定企業は578社
(うち東証一部上場企業約100社))



2018年4月 東京都江戸川区の社宅隣接地に
企業内保育所「ネピア ソダテラス」開園

目的

- 従業員の育児と仕事の両立支援
→ 女性の活躍推進
- 地域の待機児童削減



＜園舎の様子＞
窓からの光が満ち、風がめぐる
子どもがのびのびと過ごせる空間



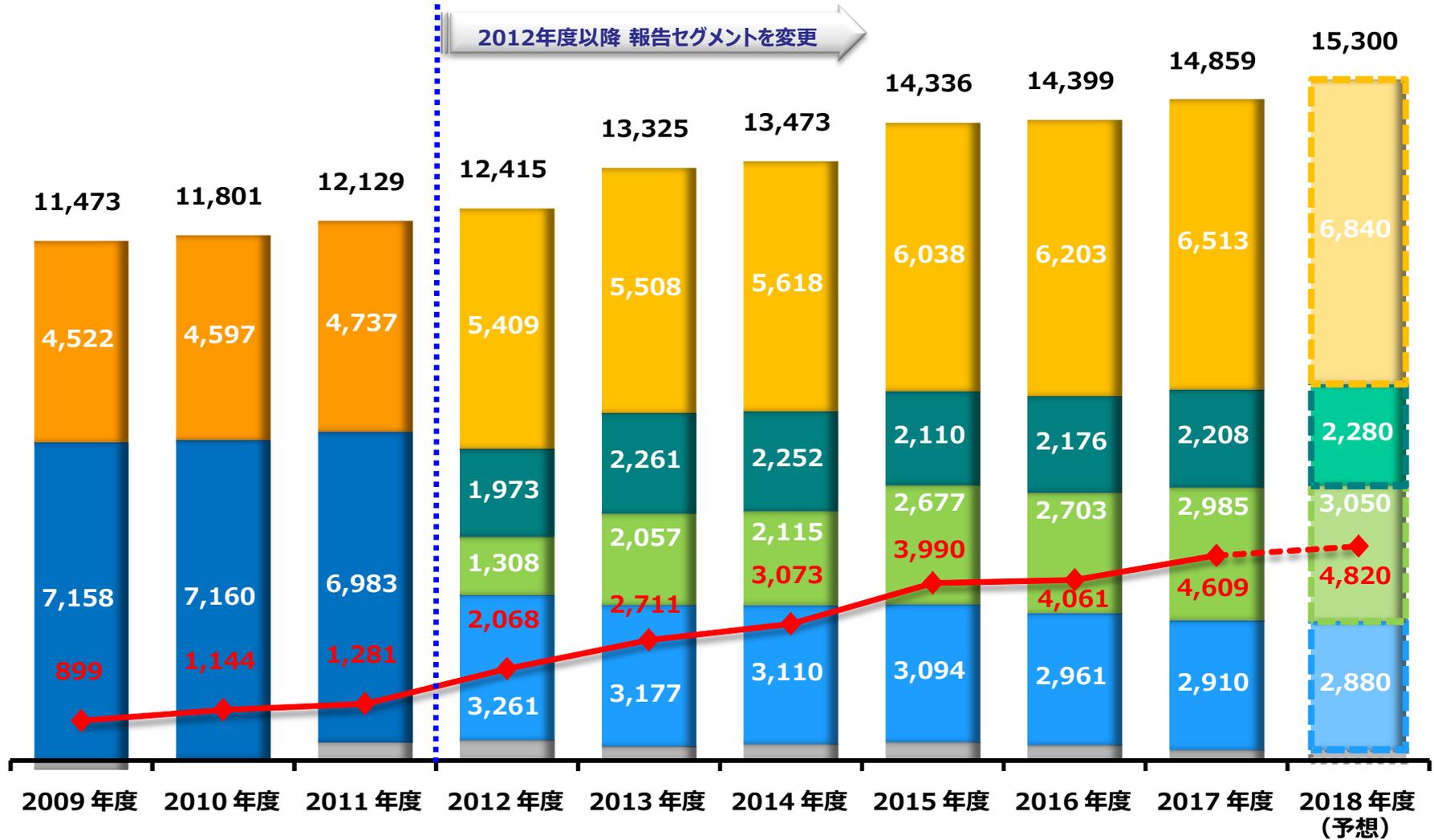
《参考資料》

セグメント別売上高推移

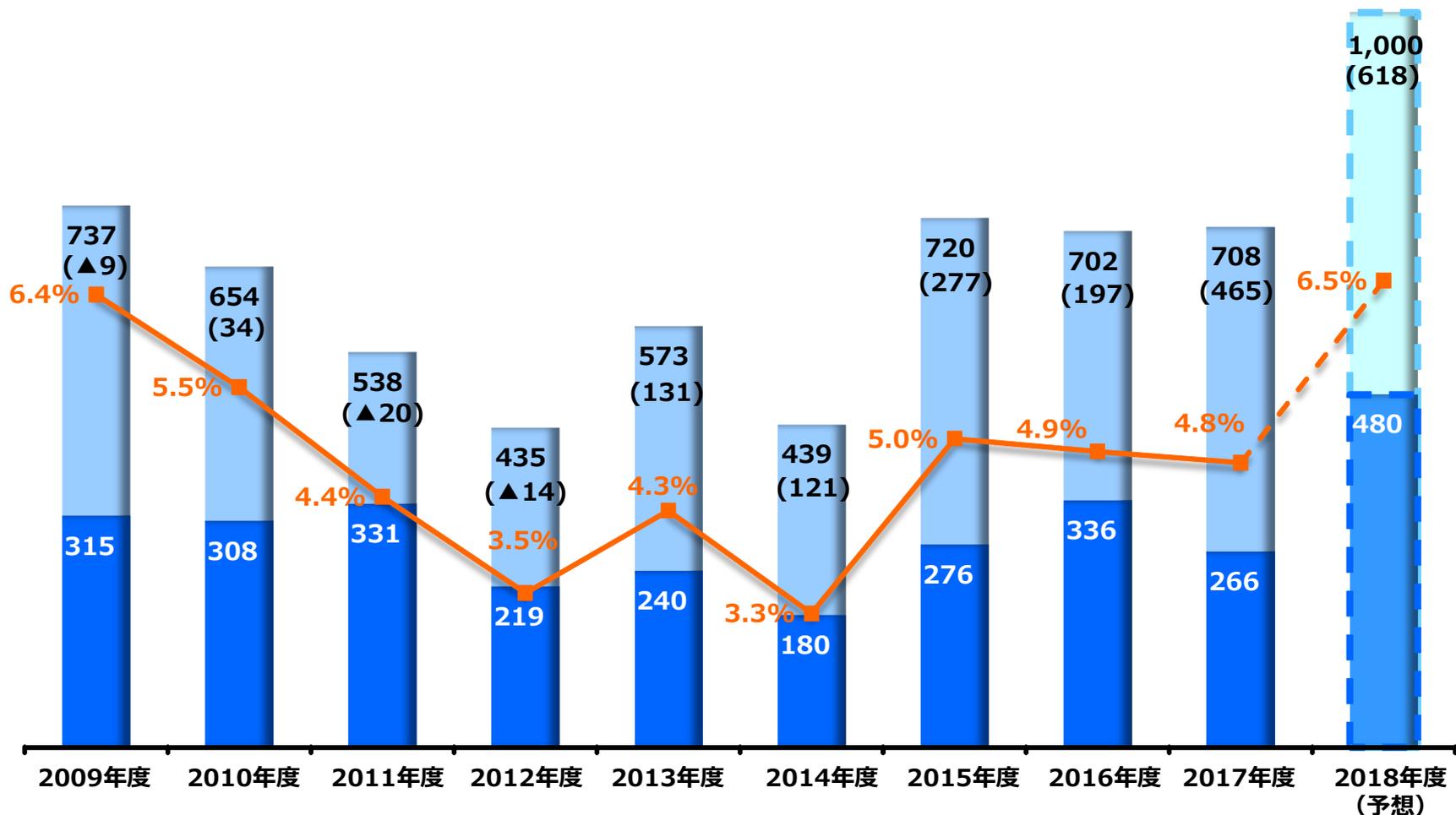


■ 紙加工製品 ■ 紙パルプ製品 ■ 生活産業資材 ■ 機能材 ◆ 海外売上高 (億円)
■ 資源環境ビジネス ■ 印刷情報メディア ■ その他

2012年度以降 報告セグメントを変更



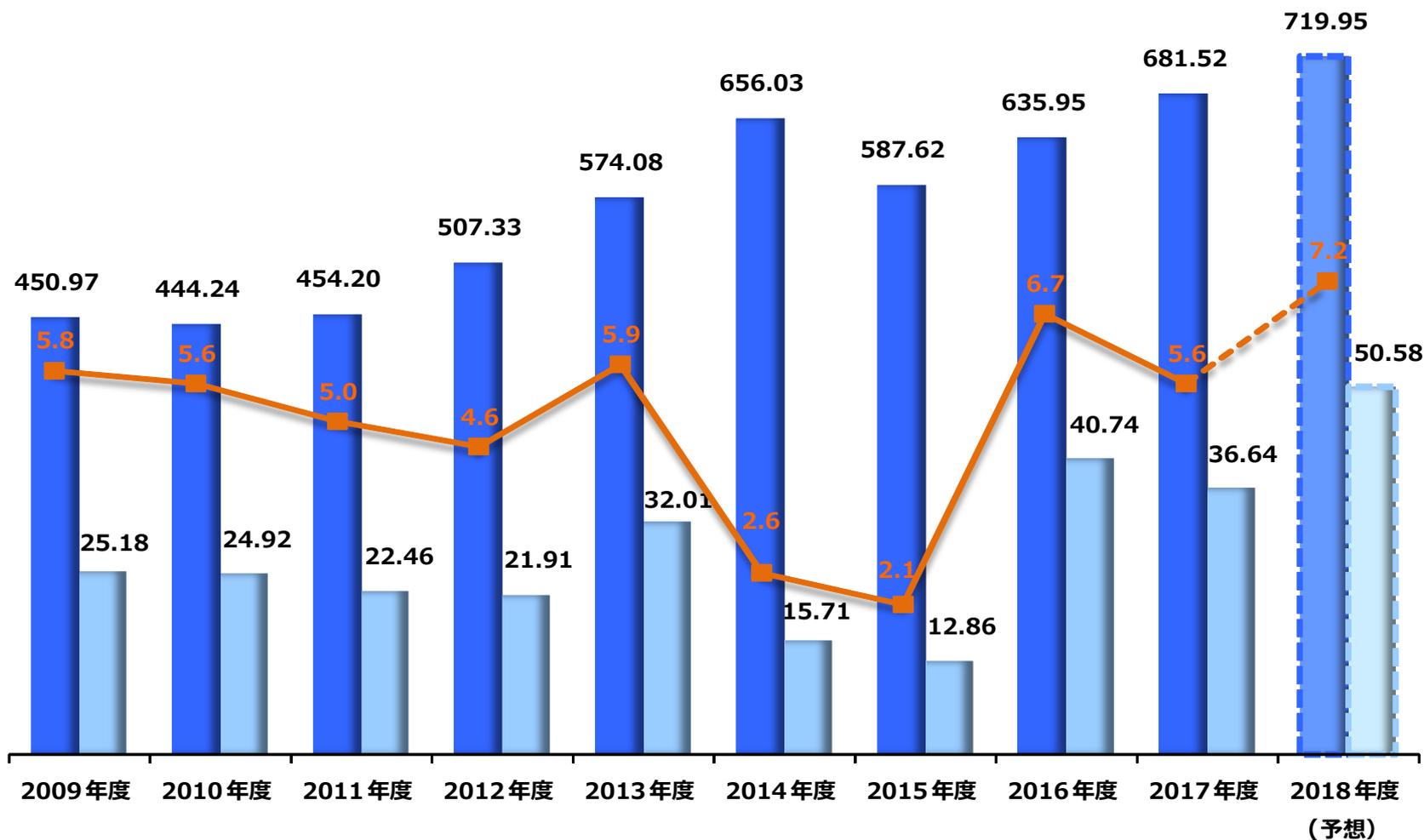
■ 営業利益 (うち海外所在会社)
 ■ 営業利益[2Q累計]
 —■— 売上高営業利益率
 (億円)



自己資本利益率（ROE）推移



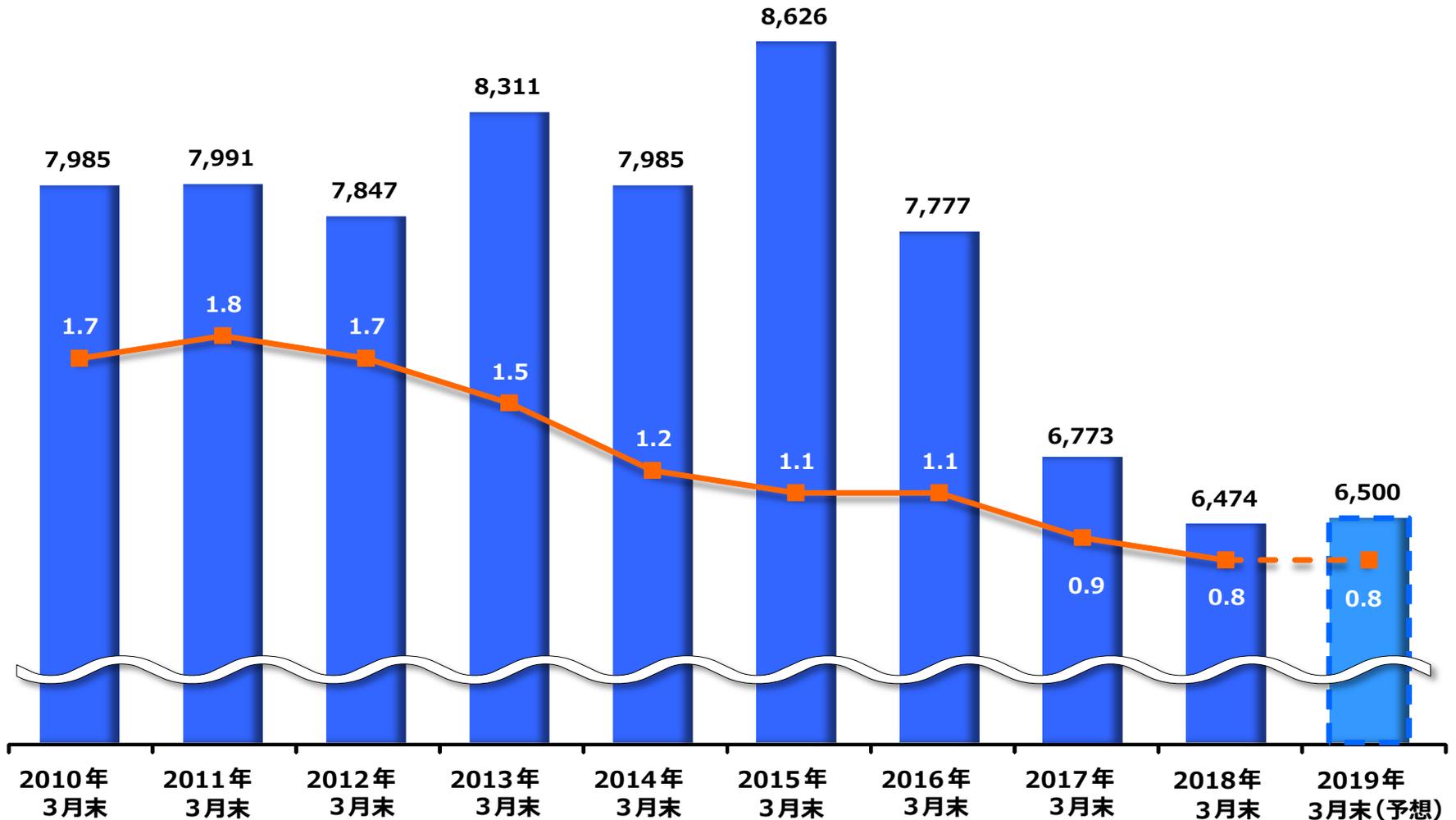
■ 1株当たり純資産（円） ■ 1株当たり当期純利益（円） —■— ROE（%）



連結有利子負債残高推移

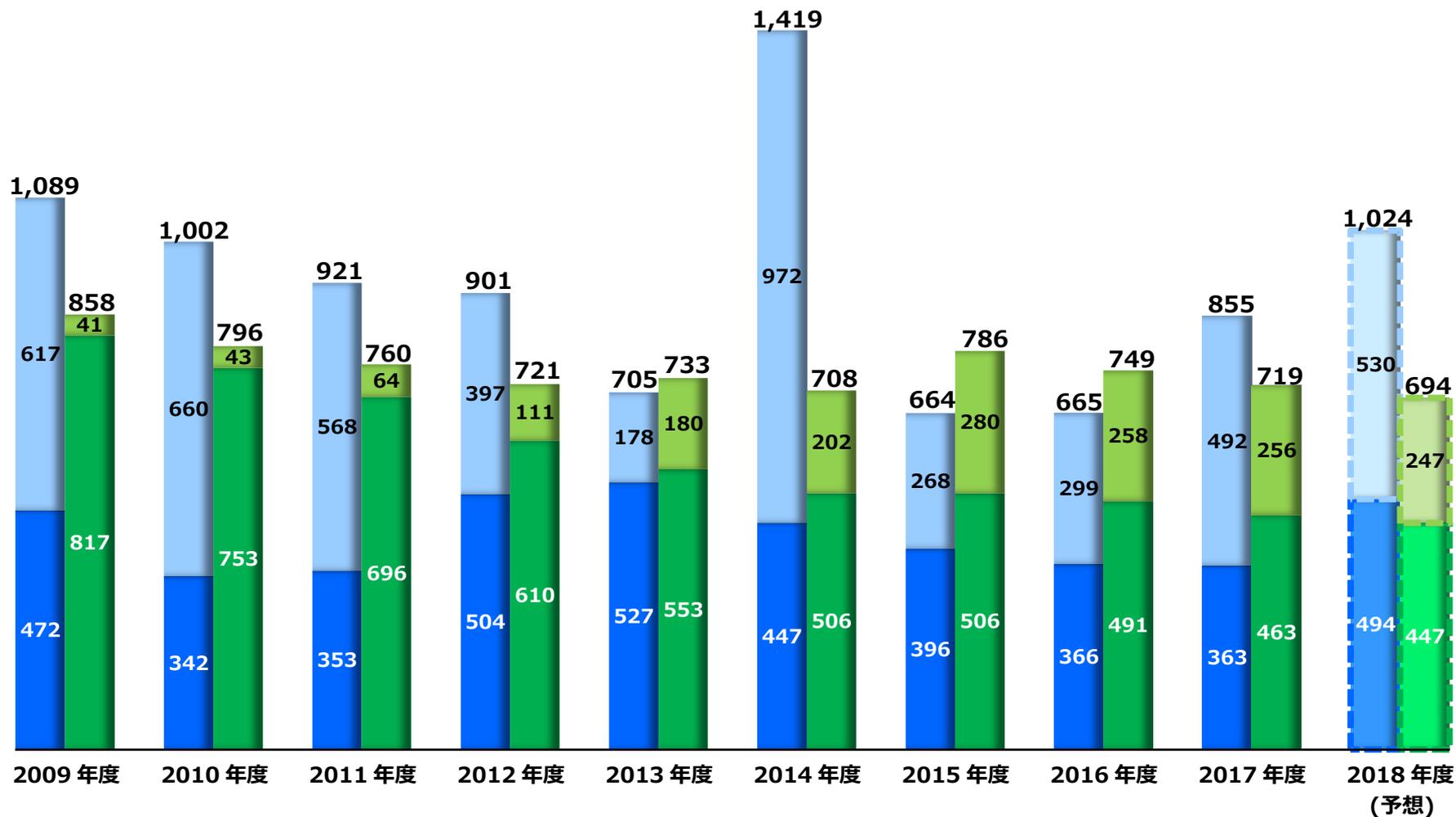


■ 連結有利子負債 (億円) ■— D/E (倍)



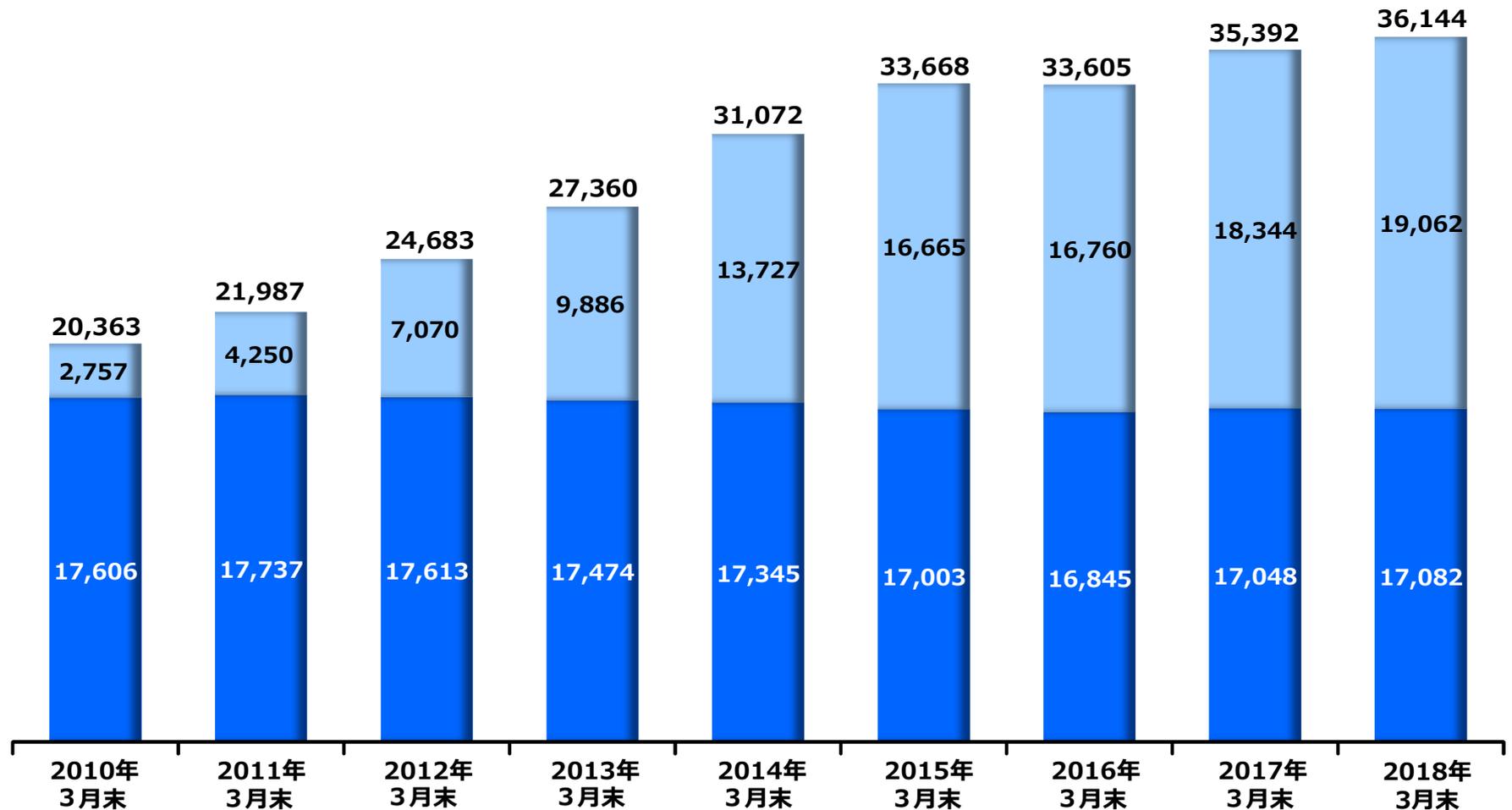
連結設備投融资・減価償却費推移

■ 国内設備投融资
 ■ 海外設備投融资
 ■ 国内減価償却費
 ■ 海外減価償却費
 (億円)



■ 連結就業人員（国内）
 ■ 連結就業人員（海外）
 (人)

※臨時従業員を除く



(単位：千 t)

	国内出荷高		輸入紙 (通関) ※1		合計	
		前年比		前年比		前年比
段ボール原紙	9,201	102.1%	43	107.4%	9,244	102.1%
紙器用板紙	1,578	101.4%	241	97.2%	1,819	100.8%
その他の板紙	656	103.6%	27	101.9%	683	103.5%
板紙計	11,435	102.1%	311	98.9%	11,746	102.0%
衛生用紙	1,789	99.3%	205	105.5% ※2	1,994	99.9%
包装用紙	707	100.0%	8	113.0%	715	100.1%
新聞用紙	2,742	95.2%	10	78.2%	2,752	95.1%
印刷・情報用紙	7,358	96.7%	934	93.4%	8,292	96.3%
雑種紙他	750	104.1%	18	90.4%	768	103.8%
紙計	13,347	97.3%	1,175	95.3%	14,522	97.1%

板紙・紙計	24,781	99.4%	1,486	96.0%	26,267	99.2%
--------------	---------------	--------------	--------------	--------------	---------------	--------------

(単位：百万㎡)

段ボール ※3	14,243	101.5%			14,243	101.5%
----------------	---------------	---------------	--	--	---------------	---------------

出典：「日本製紙連合会紙・板紙需給統計」、「財務省貿易統計」、「全国段ボール工業組合連合会段ボール生産量」

※ 1：輸入紙（通関）の実績は2017年4月～2018年3月（速報）の実績

※ 2：衛生用紙の輸入紙（通関）に二次製品（加工品）を含む

※ 3：段ボールの数量は生産量（貼合されたシートの総量）



領域をこえ 未来へ

OJI

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
また、本資料に掲載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。
従いまして、本資料のみに準拠して投資判断されますことをお控えくださいますようお願い致します。
本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。